



む そ う

東学舎「夢創発表会」

9月25日、東学舎にて「夢創発表会」が行われました。第1部は6年生と7年生の発表です。前半は7年生が発表、6年生が聴衆者となり、発表内容についての対話をしました。後半は6年生が発表し、7年生が聴衆者側に回ります。6年生のテーマは東山区についての研究です。「東山区マナー向上大作戦」「実は困っているぞ！東山区の課題」などユニークなテーマで発表していました。7年生のテーマは「提言～わがまち京都の未来」。観光、歴史、自然、お寺など京都の魅力について語ってくれました。



続く第2部は8年生と9年生の発表です。8年生は日本という国の課題、少子化、災害、環境、防衛など様々な角度で発表していました。9年生は世界と日本をテーマに、地球温暖化、ジェンダー平等、多様性、スポーツなどグローバルな視点で発表していました。8年生や9年生とともに、原稿を読むだけでなく相手の顔を見ながら、エビデンスをしっかりと持って話せる子どもたちもたくさんいました。第2部の聴衆者には西学舎の先生方にも参加していただきました。西学舎を巣立っていった子どもたちの成長を見てもらう機会でもあります。心身ともに逞しく成長した姿は、西学舎の先生方から見ると頼もしく見えたのではないかでしょうか。

例年、この「夢創発表会」には保護者の方にも視聴者になっていただき、子どもたちに質問をしていただいています。また、今年度は龍谷大学、立命館大学、京都教育大学、同志社女子大学の大学生・大学院生や、東山泉小中学校の卒業生にも多数参加してもらい、子どもたちとの対話をしてもらいました。子どもたちのプレゼン力を高めるのは質問者の「問い合わせ」です。良い質問は子どもたちの探究心をくすぐり、より高みを



目指そうとする姿勢につながります。

東山泉が大切にしている校は「向學、才知、立志」の一つ「才知」には「課題解決に向けて情報を収集・分析したり、周囲の人と協働したりしながら、自らの考えを表現できる力」という意味があります。東学舎の子どもたちにとって、この日は異学年交流だけではなく、「才知」の力を伸ばせる大きなチャンスになったのではないでしょうか。9年生はこのような様々な経験を経て、最後の研究に取り組みます。この東山泉で培った力は今後の人生にきっと役立つものであると信じています。